

「安心」を支える消防をめざして

たんごの風



vol.12



網野保育所のみんながお散歩の途中で網野分署に

特集・・・新指令室が完成
200 消防統計

火災・救急・救助は

119

(携帯電話も同じです)

信頼をつなぐかけ橋に

新指令システムスタート！！



■ ボタンひとつで より身近に

今回導入されたシステムのひとつに、緊急通報システムからの119番通報があります。これは一人暮らしのお年寄りや、体に障害のある方などが持たれているものです。これまでは各町の福祉施設につながり、職員の方が119通報されていました。これからはボタンひとつで消防署へつながります。

丹後6町でこの緊急通報システムを使用されている方が緊急ボタンを押されたとき、押された方のお宅が地図上に表示され、場所がわかります。これにより火事や救急など素早い対応が可能になります。このシステムは現在電話回線の切り替え作業中です。切り替えが終了した回線から順次使用できるようになります。これからの高齢社会に、今よりもさらに重要になってくる装置のひとつではないかと考えています。

■ 安心を皆さんへ

新しい指令システムの導入にともない、回線の増設もおこなわれました。これにより119番をかけて

も話中につながらないということとが少なくなると思います。私たちの使命は、住民のみなさんの安心と安全を守ることです。今回新しくなった指令システムはそのための頭脳であり心臓部です。指令システムを十分に活用し、職員の知恵と技術を総動員して、いろいろな場所でもみなさんのために役に立てる消防を目指していききたいと思えます。



より身近な指令室に

丹後町 豊栄小学校
芝野 睦子先生

今日、初めて新しい指令室を見学させていただきました。

119番の発信地が瞬時に地図として画面に表示される装置を見学させていただきましたが、1秒でも早く現場に駆けつけるためのシステムであることがよくわかりましたし、みんなが安心して暮らせるための施設であることを実感しました。

コンピュータや設備が新しくなって運用が大変だと思いますが、住民の命と安全を預かっているんだという緊迫感が、指令室の担当の方たちから伝わってきました。

一人暮らしのお年寄りのお宅からも直通の電話でつながるそうですが、豊栄にも一人暮らしのお年寄りがたくさんいらっしゃるの、新しい指令室がみなさんの「安心」に役立つよう期待しています。



■ 指令室が動き出す

消防署ができてから15年。これまでの指令システムの老朽化を受け、ほぼ1年がかりで行われていた工事が終わり、新しい通信指令システムが完成しました。

新しいシステムは、その多くの部分がコンピュータにより自動化されています。

119通報された場所をすばやく探し出す地図検索、発信地表示システムや、災害の規模、発生場所により出動する隊の編成を行い、出動指令も音声合成システムに

3月、峰山消防署の新しい通信指令システムが動き出しました。

皆さんからの119通報の窓口であり、消防車、救急車に出動指令を出します。まさに消防署の中心部、頭脳と言える場所です。

今回はこの新しい通信指令システムについて特集してみたいと思います。

■ メールでお知らせ

火災などの災害が発生した場合、消防団の皆さんへの連絡は、これまでサイレンと無線による火点広報、火災等の場所を知らせるに頼っていました。これからはさらに、登録されている消防団員さんの携帯電話へのeメール配信などもあわせて行います。

住民の皆さんへはこれまでのサイレンとともに、丹後6町のうち防災行政無線が設置されている町には火災の発生場所を放送することができるようになりました。これらの作業は119番通報を受けた後、出動指令を出す中で自動的に行われます。皆さんに、より早く、より正確に災害情報をお伝えすることができるようになりました。



安心を支える消防を目指して

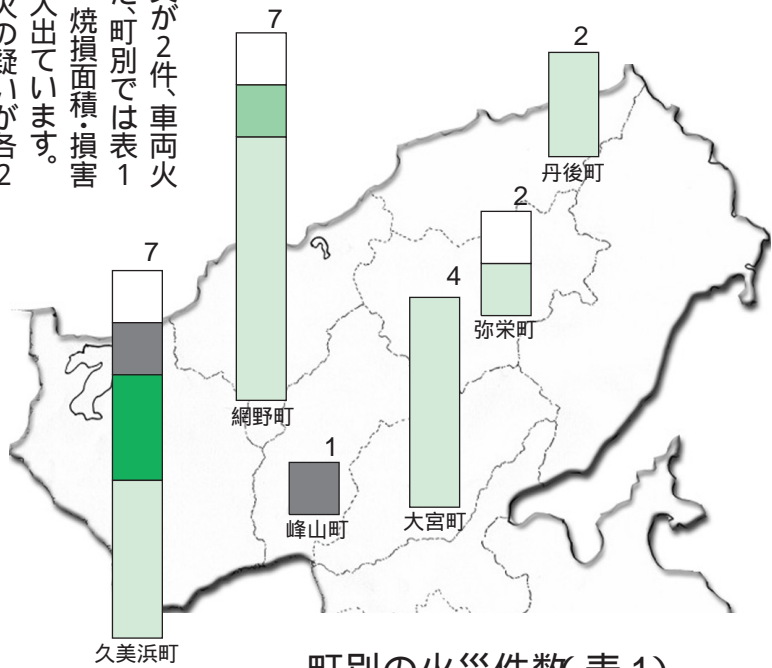
消防レポート 2001

昨年の火災・救急・救助の統計がまとまりました。この結果の中に、皆さんが災害に遭わなくても済むヒントが隠されているかもしれません。この機会に災害の予防について考えてみてください。

火災 FIRE

依然多いウツカリ火災

火災件数は全体で22件、内訳は建物火災が14件、林野火災が2件、車両火災が2件、その他の火災が3件、爆発1件となりました。また、町別では表1のとおりです。前年に比べ、火災件数は1件減少しましたが、焼損面積・損害額はともに大幅に増え、火災によるケガ人も10人、死者も1人出ています。出火の原因は多い順に、たき火が4件、たばこ・コンロ・放火の疑いが各2件と続きます。



町別の火災件数 (表1)

建物火災の原因では、天ぷら鍋の火の消し忘れや、たばこの火の不始末によるものが依然として多く、林野火災では、たき火の不始末によって燃え広がる火災が多い結果となりました。1件でも火災が減ることをめざして、消防署では消防フェア・防火座談会・消火器取り扱い講習会など、さまざまな行事を行っています。みなさんも、もう一度身の回りを点検し、火の用心をお願いします。

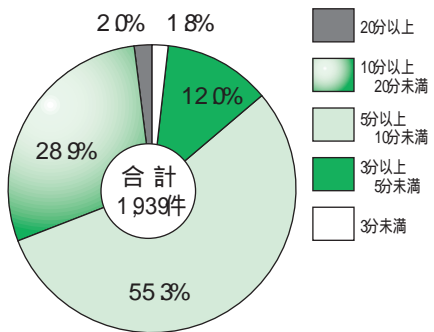
救急 AMBULANCE

応急手当の普及を

救急件数は全体で1939件、搬送した人の数は1891人となり、ともに過去最高となりました。これは1日に約5件出動したことになります。出動の内訳は多い順に、「急病」が1093件、「交通」が313件、「



救急現場への到着時間 (表3)



救急現場への到着時間 (表3)

災害に強いまちづくり

新宿ビル火災・狂牛病など昨年は今までに経験したことのないような事件や災害が発生しています。災害は忘れた頃に、また、想像もつけない形で発生するものです。わたしたち消防は過去の災害から予防策を考えるのは当然ですが、今後どんな災害が起きようとも、最善の活動ができるよう知識と技術の向上に努めています。

皆さんも災害の少ない町づくりはもちろんです。たとえば災害が起きて、最小限の被害で済むよう災害に強い町づくりを目指し、一人一人が心掛けていきましょう。

救助 RESCUE

原因は不注意から

救助件数は前年より2件増えた39件で、内訳は交通事故が23件、水難事故が7件、機械事故が2件、その他の事故が7件となりました。救助した人の数は29人です。

大半は交通事故によるもので、内容は単独または出会い頭の衝突事故、川や田んぼへの転落事故により身動きができなくなったり、車内に閉じ込められたりしたものです。水難事故の内容は、釣り人の海への転落や、波が高くなり岸に帰れないなどがありました。

高齢社会や交通事情などの現状を考えれば、今後も増えることが予想される救助出動ですが、消防署としてもさまざまな救助現場に迅速・確実に対応するために、救助技術の向上に取り組んでいます。



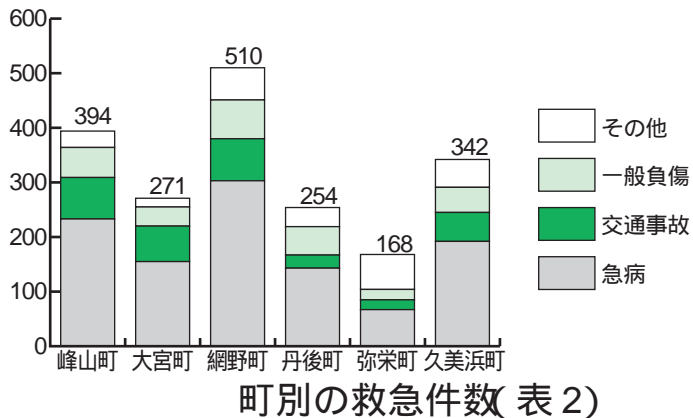
救急一口メモ 気道の確保

「救急一口メモ」ということで、救急出動した事案を思い浮かべたところ、次のようなことがありました。通報は呼びかけても起きず、いびきをかいて寝ているといったものでした。到着し観察すると、二つ折りにした座布団に頭をのせ、仰向けにいびきをかいています。私は座布団を取り除き、あごを突き出す



救急救命士 山添 敏弘

ように、気道確保したところ、いびきは消え、楽そうな呼吸となりました。家族は寝ていると思っていました。家族は寝ているとは思っていましたが、本当は脳疾患により意識障害を起こしていたのです。意識のない人には、枕などを取り除き気道確保することで、呼吸は楽になります。呼びかけても反応のない人は、舌などがのどをふさぎ、空気の通りが悪くなっていることがあるので、そんなときには気道確保を試みてください。



町別の救急件数 (表2)



8:30

竹野川分遣所の職員と一緒に。一日の始まりです



10:00

宇川温泉“よし野の里”の立ち入り検査



16:00

一日が終わりました。ご苦労サマ



15:00

落ち着いて。消火器の訓練



13:00

救命法の訓練です



11:30

にしがき間人店の前で火の用心



11:00

健康にも火事にも気をつけてください
(間人診療所)

一日女性消防官 竹野川分遣所 3 / 1

橋本尚子さん
(丹後町役場勤務)
消防の仕事で今までに知らなかったことや、体験をさせてもらい大変充実した一日でした。



谷加奈子さん
(いちがお園勤務)
今日は宇川温泉などに検査に行き、日頃見られない場所を見ることができ、非常にいい経験になりました。また、救急の勉強もでき、大変勉強になりました。

Q 一日女性消防官の感想は？



3 / 16

火事の原因を実験。三重地区(大宮町)



3 / 18

消防士と救急隊員に変身。浅茂川保育所(網野町)

クイズタイム!



2 / 13

お客さんをまもれ!
よし野の里で救急講習会(丹後町)



3 / 7

先生たすけてー海部保育所(久美浜町)



3 / 5

地震に負けないぞ! 新山保育所(峰山町)

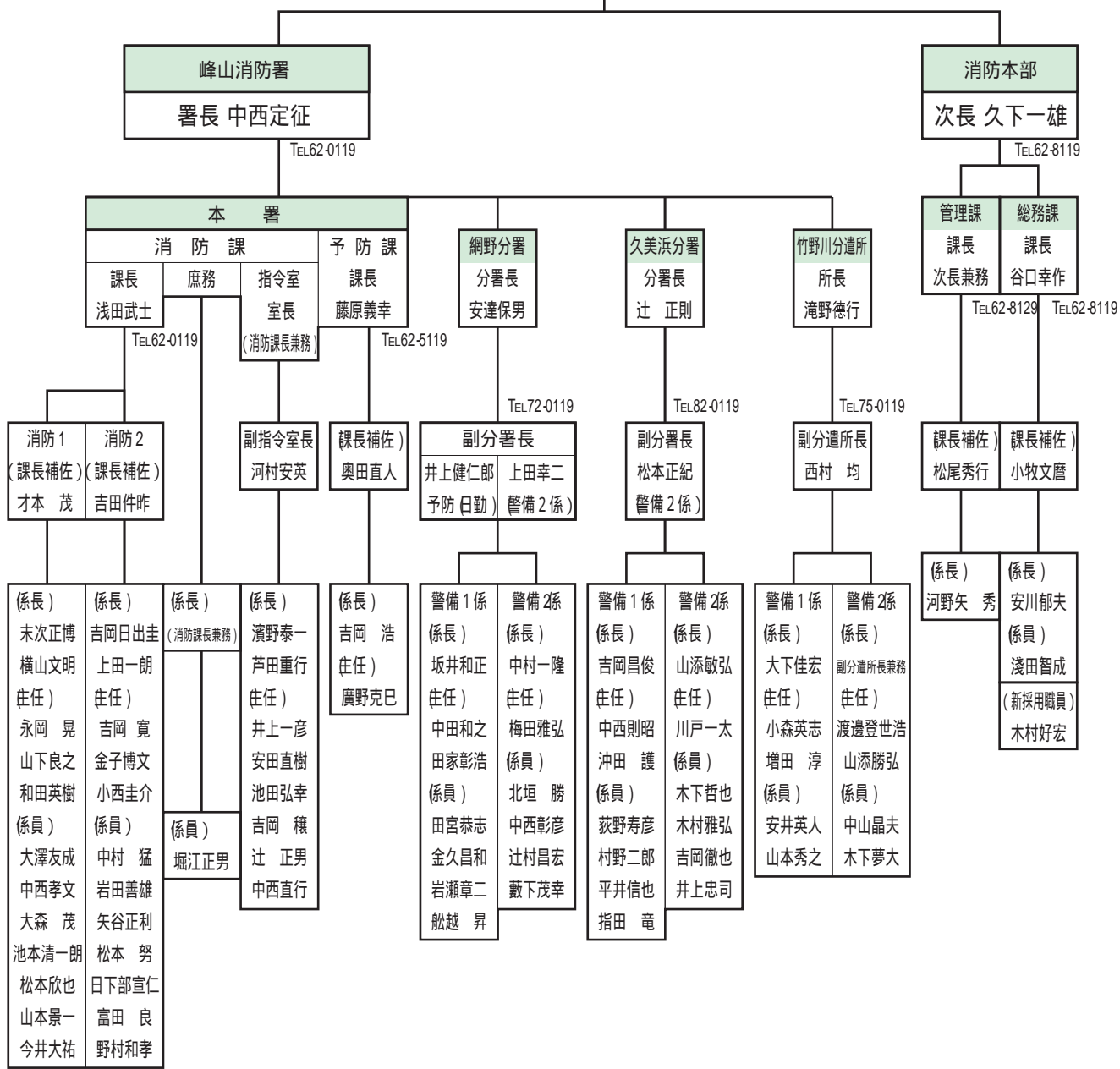


3 / 5

頭をかくしてね。黒部小学校(弥栄町)

消 防 の 広 場

丹後広域消防組合 消防本部 (丹後(町)を組織され、管理者は峰山町長)
 消防長 城下泰幸 (職員数消防長以下 93名)



編集後記

昨年の春号でお伝えしたとおり、昭和62年10月に消防署が業務を開始して以来、15年間、みなさんからの119番通報を受け続けてきた通信指令施設が、新たな機能を整えて3月にスタートしました。「自動化により早く消防団との連携強化・救急と福祉」を基本的な柱としたこの安心を支える「システムを指令室長以下10名の専任職員を中心に運用していきます。春はスタートの季節ですが、消防署もこの新指令システムを中心に新たなスタートに臨むつもりです。そのスタートにあたり、福岡署長が退職されました。海を抱える消防組合として、いち早くスキューバ隊の発足と育成に取り組みつねに人の和を重んじながらわれわれ職員を引っ張ってこられたその「情熱」と「和」を職務の基本にしなければと思います。長い間、ありがとうございました。

ご用の際はちらまで

峰山消防署・本部(代表) 62-0119
 予防課(設備指導) 62-5119
 本部総務課(庶務、人事) 62-8119
 本部管理課(企画、管理) 62-8129